

WG 活動報告

22: ドナーの安全性(骨髄・末梢血)

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 小寺 良尚	愛知医科大学病院	血液内科
三田村 真	ザイオソフト	
政氏 伸夫	北海道大学大学院 保健科学研究院	病態解析学分野
塩原 正明	長野県立こども病院	血液腫瘍免疫科
田地 浩史	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
安井 昌博	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
小原 明	東邦大学医療センター大森病院	小児科学第一講座
山下 卓也	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
尾関 和貴	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
角南 一貴	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	血液内科
宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植 振興講座
矢部 みはる	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植科
一戸 辰夫	佐賀大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
薬師神 公和	神戸大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
塚田 信弘	日本赤十字社医療センター	血液内科
増田 昌人	琉球大学医学部附属病院	がんセンター
澤 正史	安城更生病院	血液・腫瘍内科
前田 猛	京都大学医学部附属病院	外来化学療法部
飯田 浩充	国立病院機構名古屋医療センター	細胞療法チーム・血液内科
小林 直樹	札幌北榆病院	内科

② 2012 年 12 月末時点で承認された研究、及び業績一覧

22-1	「Safety and risk of allogeneic peripheral blood stem cell donation: results of nation-wide consecutively prereistered 3,264 family donor survey in comparison with bone marrow donation in Japan」 PI:小寺良尚
学会発表・論文業績: WG 発足前の発表に関しては、「V-6.日本造血細胞移植学会血縁ドナー登録データ利用業績」参照。	
22-2	「同種造血細胞ドネーションの更なる促進のために」 PI:小寺良尚
学会発表: 小寺良尚 同種造血細胞ドネーションの更なる促進のために. 第 33 回日本造血細胞移植学会総会、骨髄バンク・臍帯血バンク合同報告会、平成 23 年 3 月 10 日、松山 論文業績: なし	

22-3	「血縁造血幹細胞ドナーの声」 PI:小寺良尚
<p>学会発表: 青雲、飯田美奈子、鈴木律朗、山下卓也、福田隆浩、大橋一輝、小川啓恭、鬼塚真仁、近藤忠一、金森平和、黒川峰夫、宮村耕一、伊藤俊朗、衛藤徹也、片山義雄、前田哲生、小寺良尚. 血縁造血幹細胞(骨髄・末梢血)ドナーの声. 厚生労働省 免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 非血縁者間同種末梢血幹細胞移植開始におけるドナーおよびレシピエントの安全性と移植成績向上に関する研究班 (宮村班)班会議.</p> <p>平成 24 年 7 月 8 日 名古屋</p> <p>論文業績: 青雲、飯田美奈子、鈴木律朗、山下卓也、福田隆浩、大橋一輝、小川啓恭、鬼塚真仁、近藤忠一、金森平和、黒川峰夫、宮村耕一、伊藤俊朗、衛藤徹也、片山義雄、前田哲生、小寺良尚. 血縁造血幹細胞(骨髄・末梢血)ドナーの声. 日本造血細胞移植学会雑誌 第 1 巻、第 1 号;6-12、2012.</p>	
22-4	「成人幹細胞ドナーにおける採取効率に関わる因子の検討:骨髄と末梢血の比較」 PI: 山下卓也
学会発表・論文業績:	
22-5	「小児骨髄移植ドナーの安全性」 PI: 矢部みはる
学会発表・論文業績:	

③ 会議開催記録(2012 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2012/2/23	大阪国際会議場会議室	研究進捗状況の確認、ドナーデータ取扱担当者の紹介、新規研究について
2012/7/8	名古屋第一赤十字病院 会議室	研究進捗状況の確認、WG 内の諸手続担当者に関する検討、血縁者データと非血縁者データの解析に関する検討、学会委員会、財団委員会との連携について

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2012 年 11 月末時点)

(44)回

⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

1. 学会血縁ドナーデータの解析継続(1)2000 年 4 月～2003 年 3 月のドナー: 対応患者データの解析、論文化、2)2005 年 4 月～現在の血縁骨髄・末梢血ドナーデータの解析、論文化、3) G-CSF2 製剤間のドナーにおける安全性の比較-必ずしも公表はしないが)。
2. バンクドナーデータとの一体化と解析項目の設定に関する作業。
3. ドナーの適格基準設定に資するデータの作成。
4. その他。